# 令和６年度　認定こども園むつみ幼稚園　施設評価

保護者向けアンケートの結果を受けて

・アンケート結果では今年度もおおむねＡ・Ｂの評価をいただいた。個別の課題（「保護者向けアンケート回答中の感想、要望」参照）に関しては、引き続き検討を経て可能なものから改善を図りたい。

　また、コロナ禍収束の動きに合わせて園児の活動・行事が徐々に以前の形に戻りつつある中で、令和６年度も衛生面に配慮した園内環境の整備や保育参観、運動会、音楽･お遊戯会開催等、安全･安心な園生活の継続と家庭への情報提供の両立を着実に進めることができた。一方で、園内外の行事開催の簡素化や時間短縮等に関して、親子で楽しむ時間や笑顔を共有することができるよう、もう少しコロナ禍以前のあり方に近づけてほしいという声も寄せられた。それらを含めた多様な視点からの指摘や要望が寄せられた点を受け止め、保護者・教職員の負担軽減と活動目標の達成の両立を目指して園内で検討を進めつつ、よりよい園活動の実現に向けて改善･工夫に努めてまいりたい。

・新型コロナウィルス感染症に関しては、園内での感染拡大予防策の継続と各家庭の協力の下で沈静化している。一方で、国内ではその他各種感染症の流行がみられることから、感染や拡大の防止に努めるなど、引き続き園児の安全を最優先に日々の諸活動を進めてまいりたい。

・令和６年元日の能登半島地震発災は、年間を通して定期的に実施してきた避難訓練の重要性を再認識する機会となった。今後とも全教職員が気をゆるめることなく、保育時における様々な災害発生を想定した訓練の実施と振り返りを重ねてまいりたい。

・保育内容や成果等への力強い励ましの声を多数寄せていただいたことは、教職員の大きな支えとなった。本園の教育･保育活動への理解と協力に深く感謝している。これまでも様々に工夫を重ね、「子どもの１０の姿」を踏まえて「頑張った！」という達成感や自信につながる豊かな体験、一人一人の育ちを認める教育･保育活動の実践に努めてきた。今後とも、教育方針等について説明を丁寧に行った上で、本園教職員としての誇りと謙虚さをもって諸活動に臨みたい。

・以前より要望が寄せられている情報発信の運用に関して、園内環境の着実な整備を進めてきた。この点を評価いただいた意見も多かった。今後とも情報発信のさらなる充実を進めたい。

・多様な要望の全てに応えることはなかなか難しいが、寄せられた意見を踏まえて徐々にではあるが改善を図りながら、本園としての教育･保育活動を実践してまいりたい。

## 園の教育及び保育活動についての保護者向けアンケート［結果一覧］　　Ｒ７年３月 実施

日頃より、本園の活動にご理解いただき、ありがとうございます。　　**【回答　９１／１０５】**

本園では、保護者の皆様からのご意見を伺いながら、よりよい園作りを目指して計画を進めているところです。つきましては、一年を振り返り、次の事項について、当てはまる欄に〇印をつけてください。

アンケートにつきましては、ご回答いただきました内容を十分に検討した上で、来年の計画に生かしていきたいと思います。

Ａ…よく当てはまる　　Ｂ…やや当てはまる　　Ｃ…あまり当てはまらない

Ｄ…まったく当てはまらない　Ｅ…よくわからない

| | 評価の観点 | A | B | C | D | E |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 本園は園だより「むつみ」で保育のねらいを伝えています。 | 54 | 37 | | | |
| 2 | 本園は、幼児が豊かな経験ができるよう特色ある活動を行っています。 | 65 | 26 | | | |
| 3 | 本園は、幼児が安定した気持ちで生活できるよう配慮しています。 | 51 | 36 | 3 | | 1 |
| 4 | 本園は、基本的生活習慣が身に付くよう、働きかけをしています。 | 66 | 25 | | | |
| 5 | 本園は、安全や、健康、清潔に過ごせるよう配慮しています。 | 51 | 39 | 1 | | |
| 6 | 先生は、幼児のことを理解しながら、指導しています。 | 56 | 34 | | | 1 |
| 7 | 幼児は、園で遊ぶことを楽しみにしています。 | 63 | 25 | 3 | | |
| 8 | 幼児は、いろいろな生活経験や、友だちとのかかわりから、興味・関心が広がってきています。 | 70 | 21 | | | |
| 9 | 保護者は、家庭での子どもとの触れ合いを大切にしています。 | 52 | 37 | 2 | | |
| 10 | 保護者は、子どもの健康を配慮し、園に登園させています。 | 58 | 31 | 2 | | |
| 11 | ゆめねっとやＨＰ等から園での生活や様子がわかります。 | 51 | 36 | 4 | | |
| 12 | 園生活を通して、子どもの成長を感じています。 | 77 | 14 | | | |
| 13 | 保護者は、子育て支援活動のにこにこキッズルームについて知っており、それを地域の人に伝えています。 | 18 | 30 | 38 | 5 | |

# 令和６年度　園評価

＜感想＞

◎音楽に親しむたくさんの時間、体操や英語、雪遊び等の園生活を通して、様々な体験をし、友達との関わりを深めていくことは、幼児期にとって貴重だと感じている。これを支えて下さり、本当に感謝している。

◎マーチングや楽器演奏等の新しいことに取り組み、それを家で楽しそうに話してくれる姿を見ると園生活を友達と楽しく過ごしているのだということを、とても感じた。

◎子ども達のために、工夫して保育や教育をして下さり、感謝している。

◎温かく信頼できる先生方の下で、たくましく成長していて、感謝している。

◎愛情たっぷりで細やかに子ども達を見ていて下さって、感謝している。

◎子どもの性格を理解し、その気持ちを第一優先に考えて接して下さり、とても感謝している。

◎集団生活の楽しさを学び、友達の大切さを知り、競い合うことによって多くのことに興味をもつことができ、日々目に見える成長を感じている。

◎「おひなまつり音楽お遊戯会」では一年の成長を感じ、大変感動した。

◎子ども達の歌声や楽器演奏の素晴らしさ、自分を表現しつつも頑張る強い心等を、もっとたくさんの人に知ってもらいたいと思う。富山市等からも入園してくれそうなほど、魅力があると思う。

◎お迎えの時、園での様子を詳しく教えて下さり、子どもの成長を感じている。

◎育児について相談すると、いつも親身になって相談に乗って下さり、とてもありがたい。

◎０歳児からの入園で、大変お世話になり、感謝している。

◎ちょっとの時間を見つけて外遊びを取り入れてもらえるのは、本当にありがたい。

◎先生とのコミュニケーションを喜んでいて、安心して園生活を過ごせた。

◎毎日楽しく登園し、園のことを嬉しそうに話してくれる。

◎できることが増え、園生活を楽しんでいる。

◎一人で着替え、トイレができ、家庭で料理の手伝いにも挑戦し、今後の成長を楽しみにしている。

◎次年度も、新しいことに挑戦し、楽しく通ってくれることを楽しみにしている。

◎「ゆめねっと」の導入について

・園の生活がわかりやすくなった。

・欠席連絡やお知らせの連絡ができ、とても便利になった。

・連絡事項や注意事項が案内されることで、忘れていたことに気付くことができて助かった。

◎お弁当の日が少なくなって、助かった。

◎トレーニングウェアが新しくなり、乾きやすくなってよかった。

◎入園に当たり、制服の購入やマーチング、音感教育が入園を躊躇する要因になっているようである。

◎保護者会は、保護者の負担という面ではとても軽くなり、どなたでも参加できる役員になりつつあると思った。その反面、保護者間の学年を超えた縦のつながりが希薄になり、情報共有がしづらいと感じて寂しさもあった。また、先生達の負担も気になった。

## ＜要望＞

◎職員体制について

・職員数がもう少し増えると、今以上に安心・安全に感じられると思う。

⇒現在、園児数に対して多く配置しているが、今後ともより安心・安全に留意した保育を心がけてまいりたい。

・看護師が常駐してもらえると体調不良時でも安心できる。

⇒令和７年４月に看護師配置を実現し、体調不良児に対応できる体制を整えることできた。

・担任の先生が変わった方が子どもの刺激になってよいのではないかと思う。同じ担任だと安心感はあるが、成長面や新たな発見という視点でも一年ごとに交代した方がよいと思う。

⇒担当学級は園内の人的環境や園児の状況、各教職員の生活条件等に照らして熟慮の上で決めている。大切な意見として真摯に受け止めたい。

◎行事について

・仕事の休みの調節がしやすいよう、行事の詳細（時間やスケジュール、規模等）は早めに知りたい。

⇒初めて参加される保護者にも配慮し、保護者が余裕をもてるよう丁寧に対応していきたい。

【入園式】

・令和７年度の入園式と小学校の日程が重なっていて、次年度からは配慮してほしい。

⇒小学校側からその旨の報告を受けていなかったため、重なってしまった。次年度からは小学校との一層の連携を図り、日程を考慮していきたい。

【運動会】

・集合写真があるとよい。

⇒子どもの気持ちの盛り上がりや解散までの流れを考えると、現段階では難しいと思われる。

・短かすぎる気がする。

⇒コロナかを契機に内容の精選と時間短縮を実現した経緯があるが、今後は親子で共有する時間がより充実するものとなるよう検討を進めたい。

【お遊戯会】

・舞踊「うれしいひなまつり」の音源のノイズが気になる。

⇒新しい音源探しは以前から進めているものの、古いが故に伝統ある重厚な音源でもあり、これという新たなものに出会えていない。これ以上の物が見つかるまで、継続して使用していきたく、理解をいただきたい。

・舞踊「うれしいひなまつり」の「おひな様」「お内裏様」の役をむつみ会の役員の子どもがやるという風潮は、今の時代に合っていないように思う。

・舞踊「うれしいひなまつり」は必要なのかと感じる。舞踊を行う理由が伝統ということであれば、継続しつつ、子どもの負担になるのなら難しいと思うが、もう一つ一般的な遊戯を取り入れるのもよいのかと思う。

⇒様々な意見があることを踏まえつつ、教職員間の協議を重ねて検討していきたい。

【お披露目会】

・マーチングのお披露目会は、保護者からの提案がなくてもぜひ開催してほしい。

⇒むつみ会の皆様とも相談しながら決定してまいりたい。

【未満児】

・０・１歳児の保護者が参加するイベントがもう少し増えたらうれしい。

⇒年間の保育スケジュールを見通しながら、園児にも負担の少ない形での実現を検討していきたい。

◎「ゆめねっと」などのアプリの活用について

・感染症の発症状況が分かると、病院へ行く時に医師に伝えることができ、便利だと思う。

⇒実施に向けて、進めているところである。

・ホームページにも園での様子が掲載されているが、どちらかに統一してもらえると見やすい。

⇒昨年度途中より保護者・在園児向けには「ゆめねっと」を主とする情報発信の活用へとシフトしてきた。一方で「ゆめねっと」では動画配信ができないことから、ホームページ上での掲載も一部継続している。こうした事情がある点を理解いただきたい。

・ホームページの写真を更新したら、「ゆめねっと」で知らせてほしい。

⇒情報伝達のあり方について、様々な意見を参考に改善を進めてきたが、引き続きよりよい伝え方を検討してまいりたい。

・写真が多めだとより楽しめると思う。
⇒徐々にではあるが、画面から園児の様子がわかる内容となるよう心がけてまいりたい。

**◎預かり保育について**

・お迎えの時間帯に上学年の子ども達と一緒に過ごす時、よく「いじめてくる」「嫌なことしてくる」と言っており、対応してほしい。
⇒これまで以上に、あらゆる場面で保護者とのコミュニケーションを図り、困りごとや相談を気軽に伝えてもらえる関係づくりを心がけるよう、丁寧に対応していきたい。子どもの成長に寄り添うパートナーとして、一人一人の発達を踏まえ、複数の教職員での情報共有から迅速で実効性のある支援となるよう配慮してまいりたい。今後とも、些細な点でも遠慮なく伝えていただきたい。

**◎制服について**

・リサイクルの普及や私服等との選択等対策ができると思う。
⇒今年度からリユースに取り組んでおり、好評をいただいている。今後も是非継続したい。
・通園カバンは、おしゃれで可愛いのだが、もう少し大きいとよい。
⇒子どもの体格や負担等を考慮しての担ぎやすさにより、この大きさになっている点を理解いただきたい。

**◎その他**

・ホームページの口コミの低い評価が心配になるので、削除依頼をしたらどうか。
⇒園としても重大な状況であることを認識しており、教職員間で何度も振り返りと今後について協議を重ねる中で、「私たちにできること、すべきことは、『むつみでよかった』と保護者の皆様や子ども達に感じていただける保育環境を維持し、保育内容を継続していくこと」であると共通理解した。その上で、多様な視点からの本園の“よさ”を実感してもらえるよう努めてまいりたい。その結果として、皆様からの信頼に支えられた本園の“よさ”が伝わる口コミが実現するよう全教職員で力を合わせ、子ども達の望ましい成長を目指して真摯に保育に邁進してまいりたいと考えている。
・集金にキャッシュレスもしくは、引き落としを取り入れてほしい。
⇒一人一人の集金の金額が異なるため、現段階では、一人一人に対応するのは難しいと思われる。この点を理解いただきたい。
・写真の画質が悪い。（小さい物・大きい集合写真）
⇒教職員が各々の保育記録を第一の目的として撮影しているため、画質が悪くなることもあると思う。この点を理解していただきたい。

このたびのアンケートでは、多くの皆様から多岐にわたる貴重なご意見やご感想をたくさんお寄せいただきました。本当にありがとうございました。温かい言葉やご感想、厳しいご意見やアドバイス等、一つ一つのお声に真摯に向き合い、耳を傾けながら、むつみ幼稚園の伝統の中に時代の新たな流れを取り入れつつ、これからも保護者の皆様方と共に「みほとけさまのよい子」の成長に寄り添ってまいりたいと考えております。
今後とも本園の活動にご理解・ご協力下さいますよう、よろしくお願いいたします。

～　アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。　～

保育教諭の『人権擁護等に関するセルフチェック』の結果を受けて

・近年、保育施設での幼児虐待事案等が大きな社会問題となったことを受けて、本園では全職員を対象に保育を行う上で必要な“子どもを尊重する”ことや“子どもの人権擁護”について各自が改めて意識を高め、あらゆる活動を振り返ることを目的として、人権擁護のためのセルフチェックを続けて実施してきた。その上で、これを無意識のうちに“子どもを置き去りにした保育”や“保育者の都合ですすめる保育”を行っていないかの自己点検の機会として、保育の質の向上を目指している。
・実施に当たっては、人権擁護の視点から「食事」「排泄･着替え･午睡」「クラス活動・その他」「職員間の連携」の４観点から、各チェック項目に照らして振り返りを行った。

## R6 年度　人権擁護等に関するチェックリスト 回答（抜粋）

Ｒ７年３月 実施

### 【食事】

＜未満児＞

○楽しい雰囲気で食事ができるよう、食材の名前を知らせたり「大きいお口、開いたね」などの言葉がけで一人一人のペースに合わせたりしている。これからも食事に対する苦手意識が出ないよう、工夫しながら援助していきたい。
○偏食の傾向がある子に対して次の一口に繋がれば…との思いで工夫していることが、むしろ苦痛を与えることになる場合もある。子どもの様子から「あと一口」をすすめるか、「終わり」にするかを見極めたい。「ごちそうさまにしようね」と確認することが大切であると感じた。
○子どもがフォークを落として自分の気持ちを伝えようとすることがある。そうした行動の背景には「一緒に食べてほしい、手伝ってほしい、苦手なものがある」などの理由があることを考えるようにしていきたい。
○大人の都合で子ども達の食事の流れを変えたり、片付けたりはしていないかを振り返るよう努めた。
○食べこぼしがある場合、気持ちよく食べられるようにとの思いから、拭き掃除をして机を綺麗にしたり、足で踏んだりしないように配慮した。
○食べる過程よりもどれだけ食べられたかを重要視してしまい、お皿に残っているおかずを集めて「あと少しだよ」と励まし援助していたが､味覚を育てる観点も考えて援助する必要があると気が付いた。
○無理に食べさせることはしていないが、子どもの姿を見極めながら食べられるものは食べてほしい思いを伝えながら食事を促している。他者から見て少し厳しいように見える行為があれば、保育者同士で声かけをしてきた。

＜以上児＞

○どうしても食事のペースに個人差がある。好き嫌いや食べず嫌いのものもあって泣く子には、「これだけにする？」「小さくしてみる？」と話しかけながら進めるなど、その時の子どもの表情を必ず見ながら援助している。
○おやつ後はどうしても保育者が一人になる場合があるので、食べ終えてない子どもを保育者の近くに寄せて見守るようにしている。一方で、食後の遊びの空間を作るため為に食事の遅い子を寄せたりしたことが子ども達にとって精神的苦痛に繋がったのではないかと反省している。ある程度の時間で食事を終える見極めを改めて考えたい。
○苦手なものを減らしてはいるが、その量でも食べるのが難しい子もいる。自分の中には少しずつ食べられるようになってほしいという気持ちもあり、保育者として日々葛藤している。その子にとって給食が負担にならず、友達や先生と楽しく食べる時間となるよう考えていきたい。
○終わった子を待たせない、食べた子を一人にしない等は物理的に無理なことがある。一人になることはあっても「先生は部屋に行くけど、すぐにくるからね」など、必ずなにかしら声を掛けるようにはしていた。
○保育者が、食べ終わっていない子どものおかずをその子の弁当箱に移したり、お盆やお碗を先に片づけたりする場面があった。「片付けなければならない」という思いを優先してしまっているということを認識し、保育者同士で声をかけ合って子どもの気持ちに寄り添った援助を考慮していきたい。

【排泄・着替え・午睡】

＜未満児＞

○午睡時は、一人一人心地良く眠れるリズムが違うので、その子に合った方法（歌を歌う、髪に触れる、体を毛布で包むなど）で入眠できるようにした。

○鼻水を拭いてもらうことを嫌がる子には、ティッシュをひらひらと蝶に見立て遊びに誘うよう工夫したことでスムーズに拭くことができた。

○子ども達に必ず「トイレに行く？オムツ替える？」と一声掛けてからトイレに行くように促している。全員を無理に行かせるのではなく、一人一人の思いやペースに合わせて援助するようにした。

○オムツ交換は特定の保育者でないと嫌がる子もいるが、いつもそのようになるとは限らないので、そのつどその子の気持ちを尊重しつつ「気持ち悪いから替えようね」と声をかけている。

○食事の食べこぼしが多くて下着まで汚れた場合に、子どもが自分で全裸になることがあったので、衝立で他児に見られないように配慮した。

＜以上児＞

○トイレについては、次の活動を伝えてトイレの必要性を話している。「見通し」を持てない年齢だからこそ「今、行っておこう」と促すこともある。また、「出ない」と言う子に対しては、途中で行きにくいことを考え「してきて」と言うことが日常の中であったと反省する。今後は一人一人の気持ちも考えた関わりをしていきたい。

○排泄の間隔が短い子、長い子を把握するようにし、個々に合わせて誘い方を考え関わるようにした。

○全身着替える場合は、まず下着をすぐ着用するようにし部分的に着替えるようにしている。また、他の子に見られないよう、失敗感を感じないように配慮し、汚した時はすぐに伝えやすいよう関わるよう心がけた。

○汗をかいている子に対して拭くように言葉をかけたが、下に何を着ているのかという点までは配慮できていなかったように思う。自分で調節しない子もいるので、まだ保育者の配慮が必要だと感じた。

○子ども達が自分から「トイレに行きたい」など、自分の思いを伝えられる雰囲気づくりや育ちとして育めるよう援助していく大切さを痛感している。

【クラス活動・その他】

＜未満児＞

○０歳児は、言葉が話せない分、指差し・喃語・泣くこと等で思いを伝えてくるので、そうした思いの一つ一つを汲み取りながら、安心して過ごせるよう心がけた。

○危険な時に、つい大きな声で注意してしまうことがあったことを反省した。その後は、保育者の言動が子ども達に伝わることを自覚して声の大きさやトーン等に気を付けるようにした。

○子どもの発達段階が異なるため、移動する際には一人一人に合った方法で見守り補助して、歩くことをせかさず、危険のないよう対応した。

○複数担任だったことから、個々の子どものペースに応じる援助や対応ができたと思う。

○保育者が無意識に子どもの気持ちを傷つけることはあり得ると思う。常に「今の言動は大丈夫？」と自分を振り返る習慣を身に付けたい。

○子ども同士のトラブルがあった場合、けがをしないよう、とっさに子どもの体を動かしてしまうことがある。危険から守るためとはいえ、された子は驚いてしまうので、その後に必ず声をかけることを大事にした。

○どうしても手が離せない時やその場から離れられない時等、少し大きな声で促すこともあった。同じ部屋の先生方と連携を取り、自分が気付いたが伝えられない時は他の先生にお願いするなど、配慮していきたい。

＜以上児＞

○日々の保育の中で、自分のしている事を優先してしまい「ちょっと待っててね」「あとでね」などと言葉をかけていることがあると気付いた。どうしてもすぐに対応できない時でも、その後は、しっかり子どもの話を聞き、対応していきたいと思う。

○子どもが危険な事をした時や、友達を叩く等した時に、咄嗟に注意をしてしまう事があるが、まわりにいる友達もはっとする場面があったように思う。声の大きさや言葉のかけ方に配慮していきたい。

○保育者としての自覚をしっかりもって日々の保育に携わっているつもりである。引き続き子ども一人一人を大切にし、自分の価値観だけで決めつけないよう心がけていきたい。

○保育者として、常に冷静な目で自分自身を見つめ直していくことが大切だと考えて日々の園活動を進めている。

○異年齢の友達との関わりが深まるように、言葉がけや行動に気を配るようにしている。

○集団内での子ども同士の関わり方に工夫しながら、友達と一緒にいることの心地よさを感じることができる保育を心がけている。

【職員間の連携】

○子どもの体調やその日に伝えなければならないことは、なるべく細かく共通理解が図られるよう「報・連・相」を心がけた。また、未満児として主担任の先生方とも連携を図り、集う時間、早朝、預かりのことも話し合って決め、スムーズに保育が行えるように努めた。

○物事の伝え方や時々の接し方は違っても、保育者として子どもを思う気持ちはみな一緒だと思う。子どもにとって、そうした様々な保育者との関わりはとても大切であり、保育者の個性が子どもの成長に繋がっていると実感している。

○自分が迷惑をかけたり助けてもらったりすることが多かった。職員間でうまく連携ができるよう自分がフォローできる所はやれるよう努力しているが、余裕がない時や状況に応じて対応が難しいことがあったので、気を付けていきたい。

○子どもについて気付いたことや気になることがあった時は、必ず部屋の先生（全員）と共有するようにし、職員間で連携した対応が取れるように努めた。

○子ども達が穏やかに生活しやすいような環境づくりが大切であり、そのためには自分がどのように動けばよいのかを考えながら、保育者間で話す機会を意識的にもつよう心がけた。

○相手のよい所、苦手な所も認めて接しようと努めているが、自分の心に余裕がないと相手を受け止めて応対することが難しい時もあった。やはり、自分自身が健康で気持ちよく仕事をしていないと他人には優しくできないものだと思う。みんなで問題を話し合って解決に導き、これからもここ(本園)に勤めてよかったと思えるようにしていきたい。

○努めているつもりだが、相手の思いをわかりきれていないこともあったと思う。思いを汲み取りながら各々の職員の手助けができるよう望みたい。

○よかれと思ってやっていることであっても、それが相手にとってはどう感じられているかはわからないので、自分の立場に置き換えて関わるようにしていこうと思っている。

○「気持ちにゆとりをもつ」ことが大切だと思う。保育に入って余裕がなくなると、つい口調が強くなったり横柄な態度になってしまう…というのはありがちなことである。そうならないためにも、常に「自分が言われたらどうか」と自分に置き換え、相手の思いを考えた言動を心がけるようにしていきたい。

# 《令和6年度　施設関係者評価 集計結果一覧》

回答者８名

Ｒ７年５月 実施

| | 評 価 項 目 | A | B | C | D | E |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 本園の教育･保育理念に基づき園が運営されているか | 100% | 0% | 0% | 0% | 0% |
| 2 | 園の状況を踏まえた教育・保育目標等が設定されているか | 100 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 3 | 園の教育課程の編成・実施の考え方について、教職員間の共通理解がなされているか | 100 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 4 | 幼保連携型認定こども園教育・保育要領について、個々の教職員が理解しているか | 100 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 5 | 指導計画の立案と実施が適切になされているか | 87.5 | 12.5 | 0 | 0 | 0 |
| 6 | 幼保連携型認定こども園教育・保育要領に沿った乳幼児の発達に即した指導がなされているか | 87.5 | 12.5 | 0 | 0 | 0 |
| 7 | 乳幼児の病気やけが等の情報提供が行われているか | 100 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 8 | 日常の健康観察や疾病予防のための取組、健康診断が実施されているか | 100 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 9 | 避難訓練等を通して、教職員・園児の安全対応能力の向上を図るための取組がなされているか | 87.5 | 12.5 | 0 | 0 | 0 |
| 10 | 特別な支援が必要な幼児のための施設や学校の利用者との交流が図られているか | 87.5 | 12.5 | 0 | 0 | 0 |
| 11 | 園と医療・福祉などの関係機関との連携がなされているか | 87.5 | 12.5 | 0 | 0 | 0 |
| 12 | 職員会議、ケース会議等が定期的に行われているか | 87.5 | 12.5 | 0 | 0 | 0 |
| 13 | 園内研修が定期的に行われているか | 87.5 | 12.5 | 0 | 0 | 0 |
| 14 | 園外研修に参加しているか | 87.5 | 12.5 | 0 | 0 | 0 |
| 15 | 自己研鑽による職員の資質の向上が図られているか | 87.5 | 12.5 | 0 | 0 | 0 |
| 16 | 自己評価が行われているか | 100 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 17 | 園に関する様々な情報提供（園便り、参観日等）が行われているか | 100 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 18 | 園独自の保育体制や行事（宗教的情操教育、音感教育、マーチング活動等）が行われているか | 100 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 19 | 子育ての支援（延長保育、一時預かり等）が行われているか | 100 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 20 | 遊具、玩具、絵本等が整備されているか | 87.5 | 12.5 | 0 | 0 | 0 |

【評価】 A…十分達成されている、B…概ね達成されている、C…どちらでもない
D…取組がやや不十分である、E…取組が不十分である